第4学年総合的な学習の時間「布佐学習」活動案

我孫子市立布佐小学校 指導者 中野 直美 川瀬 美帆

1. 単元名 「布佐まちづくりマップを作ろう」

2. 単元について

子どもたちの住むこの布佐地区は、江戸時代から利根川の水運で栄えた河岸の町、商業都市であり、町並みも利根川に沿う成田街道(国道 **356** 号線)沿いに早くから形成され、柳田國男や岡田武松など文化人との関わりや古くからの祭礼が残ると共に、茨城県利根町や印西市との交流も盛んに行われてきた歴史ある地区である。それと同時に、利根川、手賀沼の氾濫による洪水に悩まされてきた地区でもある。

近年、この布佐地区では生活が脅かされるような洪水の被害は起きていないが、それは先人達が自然災害と向き合い、様々な知恵と工夫による取り組みを長年にわたって積み重ねてきた努力の賜である。災害と向き合い、この地域をより良いまちにするために手賀沼の干拓に取り組んだ井上氏、気象予報の必要性を感じ研究に取り組んだ岡田博士などの功績、また、安全安心なまちづくりを目指して取り組んでいる行政のはたらきなどに目を向けることで、自分たちのまちを大切に思い、さらにまちの安全のために、自分たちにできることを考え実践する子どもたちを育てていきたい。

そこで、**4**年生では「布佐まちづくりマップ」作りを通して、布佐のまちの良さや課題を見つけ、自分たちにできることを見つけ取り組んでいく姿勢を育て、**5**年生での井上二郎氏の学習、6年生での岡田武松博士の学習へとつなげていきたい。

3. 活動計画 (20時間扱い)

過 程	時間	学習活動と内容
つ	2	○ まち探検を通して、布佐のまちの安全を守る仕組みや課題を見つける。
かむ(ふさカリキュラム)		・まちづくりマップ作りのめあてを持つ。 ・地域の方とともに、グループごとに担当の地区の町探検を行い、安全を守る仕組み や課題を見つける。
	1 (本時)	○ まちづくりマップを作成する。 ・まち探検で見つけたことをもとに、安全を守る仕組みについて考え、確かめながら、 グループごとにマップにまとめる。

1 ○△午中の「七十一四」のプロジョンファンファンファンファンファンファンファンファンファンファンファンファンファン	ついて考える。
1 ○今年度の「布佐学習」のプロジェクトに ・ふさカリキュラムで作成した「まちづく	りマップ」をもとに、今年度のプロジェクト
す 2 ○プロジェクト学習を進めるチームを作り ・チームごとに、自分たちの成果物を決 考える。 ・成果物完成までの計画をワークシート	め、その成果物が社会にどのように役立つか
2	·聞く) oる。
6 ○成果物を作成する。(ポスター、チラシ、	, 劇、市長さんへの手紙など)
ま ○中間発表の準備をする。(スピーチメモを	を活用・・・国語)
・調べたものを分かりやすく効果的に発	表するにはどうしたらよいか考える
め ○グループ毎に中間発表をする。	
る 2 ・お互いのグループの発表を見合ったり、 ○学習発表会に向けてグループの発表内容	聞き合ったりしながらアドバイスをし合う。 ぶを精査する。
1 1	С1П. Д. / V 0
2 ○中間発表の反省を生かし、学習発表会で	・ が成果物を発表する。
広・保護者、協力してくれた地域の方々に	- 向けて、発表する。
○発表会をすることにより調べた情報を発	信しこれを「布佐学習」のまとめとする。
の成果物を地域に役立ててもらえるよう側	きかける。
・ポスター、チラシの配布	
る・市長さんへ手紙を届ける。	

4. 本時の指導(3/20時間)

①目標

- ・町探検で調べてきたこと、まちづくりに対する願いを、グループごとに「布佐まちづくりマップ」にわかりやすくまとめ、人々の努力や工夫を知る。
- ・グループの中で役割分担をし、自分の役割に責任を持って取り組む。

②展開

時配	学習内容	• 支援 *評価		
3	1. 町探検を振り返り、発見してきたもの等を確認する。	・町探検で使用した地図をもとに、		
		振り返りを行わせる。		
	2. 本時の目標を知る。			
	町たんけんをして発見してきた、布佐のまちを守るしくみやきけんな場所、ま			
	くするための願いを、地図にまとめて「布佐まちづ	うくりマップ」を作ろう。		
3	 3. マップの作り方を確認する。	・マップ作りのポイントについて確 		
	・歩いたルートをマーカー等で地図上に記入。	認をする。		
	・街区地図に、危険・安全シールを貼る。	・危険シールは赤、安全シールは青		
	・模造紙の中央に街区地図を貼り、タイトルとチーム			
	名を入れる。			
	・写真と合わせてポストイットにコメントを書き入	・ワークシート4年②のメモをもと		
	れ、模造紙に並べる。(ポストイットの色は、シール	にコメントを書きこませる。		
	の色に対応させる。)			
	・レイアウトを考え、写真、ポストイットをのりで模	・短時間で作成するため、役割分担		
	造紙に固定する。	してパーツを完成させ、貼り合わせ		
	・インタビュー結果や、感想などを模造紙に書き入れ	ていくことを確認する。		
	て完成させる。			
3 5	4. グループごとに、マップ作りを行う。			
	・役割分担をして、効率よくマップを作成していく。	*自分の役割に責任を持って取り組		
	・出来上がったものから、模造紙に並べてレイアウト	んでいるか。		
	を考えていく。			
	・見やすく、わかりやすいマップを目指して、完成さ			
	也多。	など適宜アドバイスをする。		
	・作成したマップから、布佐のまちの特徴について考			
	える。	・布佐のまちの特徴として、調整池		
	(調整池の役割について考え、なぜ布佐地区には多く	の存在に気づかせる。		
	の調整池があるのか考える。)	1. + 4. o + 0. + 0. + 1. + 1. + 1. + 1. + 1. + 1.		
_		*布佐の安全を守る仕組みや取り組		
4	5. 次回、マップの発表会を行う際の留意点について確	み、まちづくりに対する願いについ		
	認する。	てマップにわかりやすくまとめるこ		
		とができたか。		

5. 成果と課題

<成果>

- ・自分たちの住んでいる布佐のまちを、安全を守る仕組みや課題を見つけるという視点で探検したことで、ふだん何気なく見過ごしてしまっているような仕組みに気づいたり、以外にも課題が多いことに気づいたりし、自分たちのまちを理解する良い機会となった。
- ・「まちづくり」とは、「今住んでいる町をよりよいまちにすること」という共通理解のもと学習を進めたことで、マップづくりの段階から、まちの改善点を意識して活動することができた。
- ・まち探検をする中で、東日本大震災の爪痕として残る都地区の液状化や、意外にも少ない子ども1 10番の家、通学路内にいくつも存在する信号機のない交差点など、まちの中にはたくさんの危険 があることに気づき、それを改善するためには自分たちの力ではどうにもならないことに気づき、 市長さんへ手紙を書いてお願いをしたいという気持ちが芽生えるなど、まちづくりに自分たちも参 加しようという意欲を持つことができた。
- ・「まちづくり」というしっかりとした目的意識を持っている児童は、マップづくりに大変意欲的に 取り組めた。

<課題>

- ・学習意欲は持っているのだけれども、それをどう形にしていけばよいかわからず、活動にうまく参加できない児童もいるので、資料をどう整理し、どうまとめていくかなど技術的な面をしっかりと教えていかなければいけない。
- ・インタビューをする際の、基本的なあいさつ、言葉づかい、態度などは、日ごろの生活習慣がでて しまうため、日ごろよりしっかりと身につけさせていかなければならない。
- ・地域学習において、地域との交流や保護者の協力は欠かせないものであるので、積極的に布佐学習 を地域や保護者にアピールし、協力体制を整えていかなければならない。

<学習の様子>

町探検

500円以内で災害時に 役立つものをみんなで考 え、買いました。



「ふさの町のよいところはどんな ところですか?」

町づくりマップ作







町探検で見つけてきたも のをマップにまとめてい きます。

